

# 環境経営レポート

2021.10-2022.9



発行日 令和4年12月28日

こづか株式会社  
環境管理責任者 藤澤 秀行  
045-929-1931

有限会社大興資源  
環境管理責任者 藤澤 秀行  
045-929-4811

作成 環境管理担当者 藤澤 秀行

## 目 次

1.こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)のご紹介	1
2.エコアクション21取り組みの対象活動	2
3-1.事業概要 こづか株式会社	3
3-2.事業概要 有限会社大興資源	4
4.こづかグループ 廃棄物・資源物処理フロー	6
5.環境経営理念・環境経営方針	7
6-1.環境組織図 こづか株式会社	8
6-2.環境組織図 有限会社大興資源	9
7-1.こづかグループ 環境経営目標	10
7-2.こづかグループ 環境経営計画	11
8.部門別環境経営目標	12
9-1.環境経営目標の実績 こづか株式会社	13
9-2.環境経営目標の実績 有限会社大興資源	14
10.環境経営計画・取組およびその評価	15
11.環境経営目標に対する取組の評価	16
12-1.教育・訓練の計画および実施 こづか株式会社	17
12-2.教育・訓練の計画および実施 有限会社大興資源	18
13.環境コミュニケーション	19
14-1.環境関連法規のとりまとめと遵守評価	20
14-2.環境関連法規遵守と訴訟・苦情等有無の来歴	21
15-1.代表者による全体の評価と見直し こづか株式会社	22
15-2.代表者による全体の評価と見直し 有限会社大興資源	23

## 1. ～こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)のご紹介～

### 経営理念

市民と企業のエコ活動に協力して、持続可能な循環型社会を目指す。

社内全体で相互に理解し合い、全従業員の幸福を追求する。

### こづかグループ サービスのご案内「資源を活かす」

- 製紙原料の買入・販売
- 資源集団回収の推進
- 一般廃棄物収集
- 産業廃棄物収集
- 産業廃棄物中間処理
- 古紙ステーションの設置
- 古布のリサイクル
- 機密文書のリサイクル
- プラスチックリサイクル
- 出張リサイクル講師

廃プラスチック類（発泡スチロール含）処分承ります。

お見積り無料!! お気軽にお問い合わせください。

こづか株式会社ホームページ



<http://www.koduka.co.jp>

有限会社大興資源ホームページ

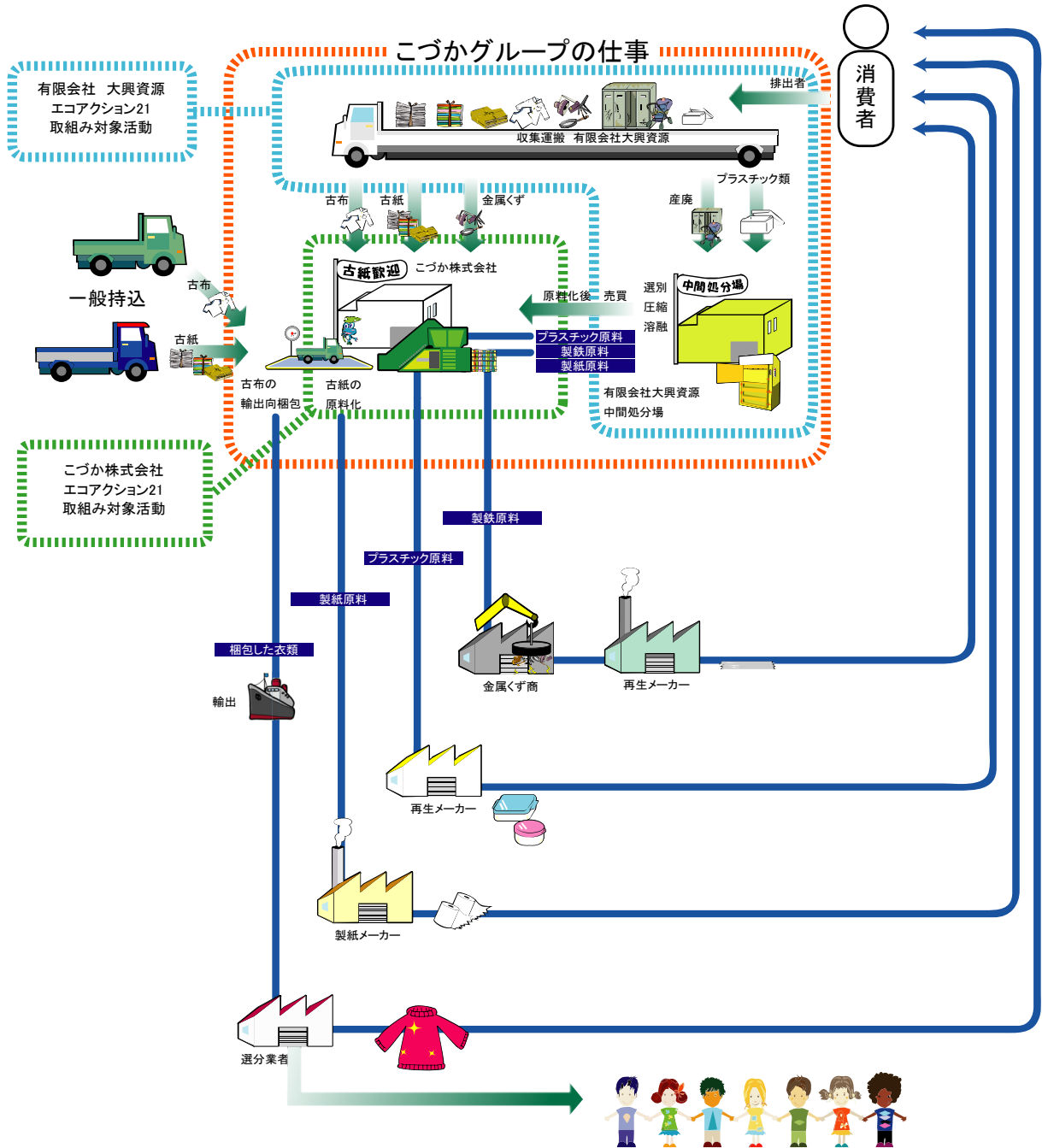


一般向けサービス・資源集団回収 Ordinary household  
<http://www.taiko-shigen.co.jp>

## 2. エコアクション21 取り組みの対象活動

### ◆ こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)コンセプト図

※認証対象範囲：こづか株式会社・有限会社大興資源ともに全組織・全活動



発展途上国の恵まれない地域の衣料

### 3-1. 事業概要 こづか株式会社

会社名	こづか 株式会社	法人設立	平成4年4月
代表者名	代表取締役 小塚 敏文	資本金	1,000万円
事業内容	再生資源及び紙製品の売買、計量証明事業 ※古紙の買取料金については電話又はメールでお問合わせください		
売上高	76 千万円(2021年度)		
従業員数	36 人		
事業年度	10月1日～9月30日		
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町247番地 TEL 045-929-1931	2725m <sup>2</sup>
	横浜北事業所	横浜市都筑区東方町895番地	1399m <sup>2</sup>
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5 TEL 0545-34-0440	1164m <sup>2</sup>
	清水事業所	静岡市清水区谷津町1丁目333-1 TEL 0543-69-5988	1000m <sup>2</sup>
保有車両	フォークリフト	15 台	合計 23 台
	計量機 台貫	4 台	
	ベラー	4 台	

### 設備の処理能力

機械 名称	設置場所	能力	備考
東京自動機械 ベラー1号機	横浜北	120t/8h	
渡辺鉄工 ベラー1号機	本社	120t/8h	
渡辺鉄工 ベラー1号機	清水	120t/8h	
ホーライ 改 ベラー1号機	富士	32t/8h	

### 取得認証一覧

名称	認証機関	認証・登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)	0002287	2008.3.14	2022.3.14	2024.3.13

### 3-2. 事業概要 有限会社大興資源

会社名	有限会社 大興資源		法人設立	昭和58年6月		
代表者名	代表取締役 猪又富美男		資本金	1,000万円		
事業内容	再生資源回収、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物中間処分					
売上高	97 千万円 (2021年度)					
従業員数	141 人					
事業年度	10月1日～9月30日					
会社所在地	本社	横浜市都筑区川和町255番地4			2725 m <sup>2</sup>	
		TEL 045-929-4811				
	横浜北営業所	横浜市都筑区東方町895番地			1399 m <sup>2</sup>	
	富士営業所	静岡県富士市富士岡483-5			1164 m <sup>2</sup>	
		TEL 0545-34-0440				
	静岡営業所	静岡市清水区谷津町1丁目328-4			1000 m <sup>2</sup>	
		TEL 0543-69-5996				
	川崎営業所	川崎市高津区久末2085-3-101				
	TEL 044-750-7161					
厚木営業所	神奈川県厚木市旭町3-18-9-305					
	TEL 046-404-2172					
渋谷支店	東京都渋谷区円山町6-7					
	03-5428-8609					
保有車両	2トンパッカー	33 台	1トン平ボディ	2 台	軽トラック・軽バン	4 台
	3トンパッカー	12 台	2トン平ボディ	20 台	乗用車	14 台
	3.5トンパッカー	0 台	3トン平ボディ	10 台	中型アーム	1 台
	4トンパッカー	2 台	3.5トン平ボディ	0 台	中型パッカー	2 台
	4トンアームロール	6 台	4トン平ボディ	0 台	合計	106 台
	4.5トンパッカー	0 台				
	2トンリンボーバン	1 台				
	処分場の処理能力	4.24t/1時間				

### 3-2. 取得事業許可一覧

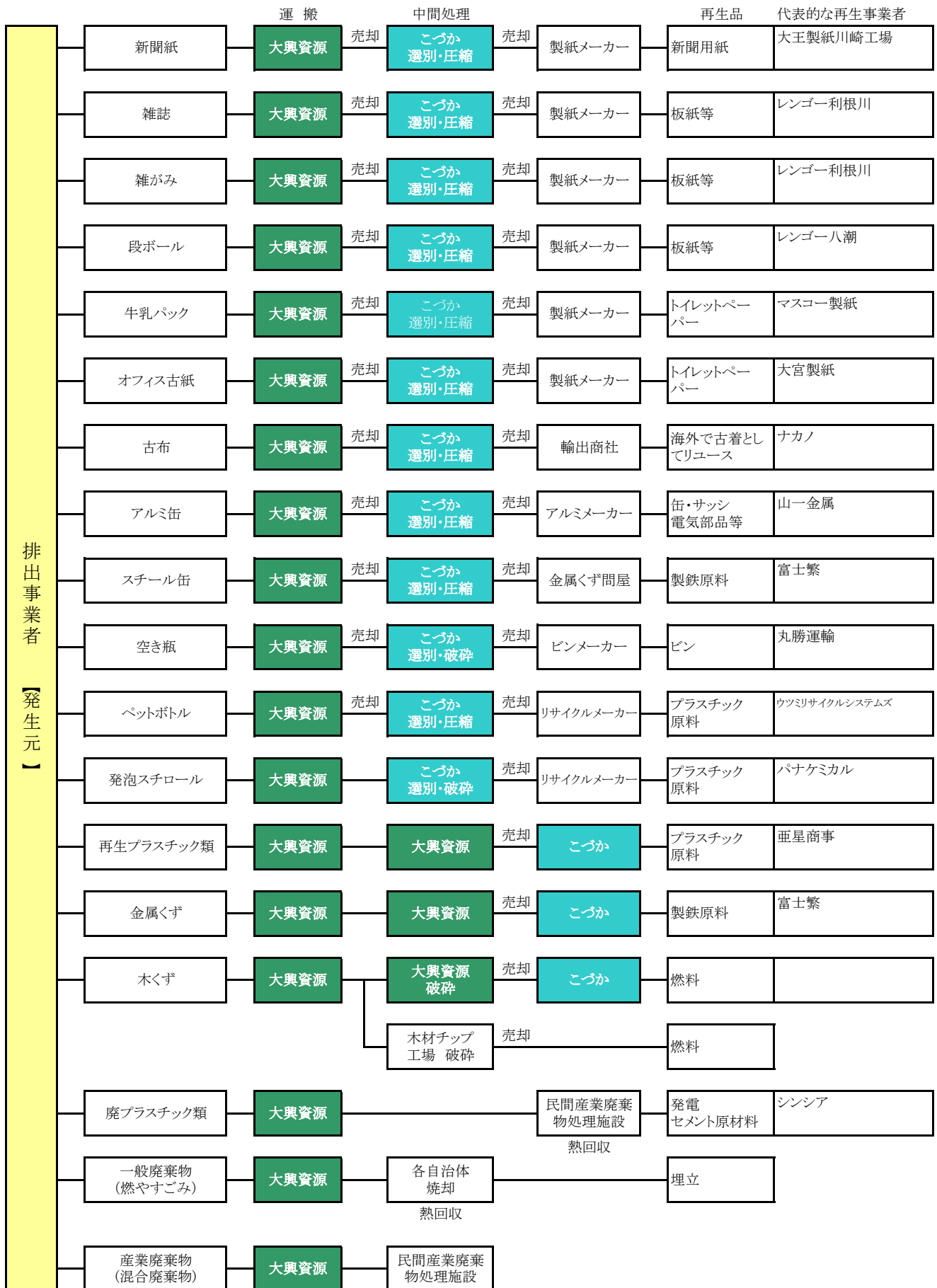
一般廃棄物収集運搬				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	備考
横浜市	1105	H9.4.1	R6.3.31	
川崎市	0066	H12.10.1	R6.9.30	
東京都 23区内1部	1355	H15.6.1	R5.5.31	渋谷区・目黒区・世田谷区
厚木市	219	H18.4.1	R6.3.31	

産業廃棄物収集運搬				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品目
東京都	013-00-001023	H8.4.26	R8.4.25	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
神奈川県	014-02-001023	H4.3.23	R9.3.22	廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
静岡県	022-01-001023	H4.12.17	更新中	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
埼玉県	1100001023	H24.7.13	R9.7.12	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず・がれき類
山梨県	1900001023	H23.9.5	R8.9.4	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず・がれき類
千葉県	1200001023	H23.10.28	R8.10.27	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
茨城県	801001023	H28.9.7	R8.9.6	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
群馬県	1000001023	H28.7.19	R8.7.18	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類
栃木県	900001023	H28.8.25	R8.8.24	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類

産業廃棄物中間処分				
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品目
静岡県	022-2200-1023	H19.6.21	更新中	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・木くず

取得認証一覧					
名称	認証機関	認証・登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)	0001907	2007.10.2	2021.10.2	2023/10/1
プライバシーマーク	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)	10870038(07)	2009.3.12	2021.3.11	2023/3/11

## 4. こづかグループ 廃棄物・資源物処理フロー





こづか株式会社  
代表取締役 小塚 敏文

有限会社大興資源  
代表取締役 猪又 富美男

# 環境経営理念



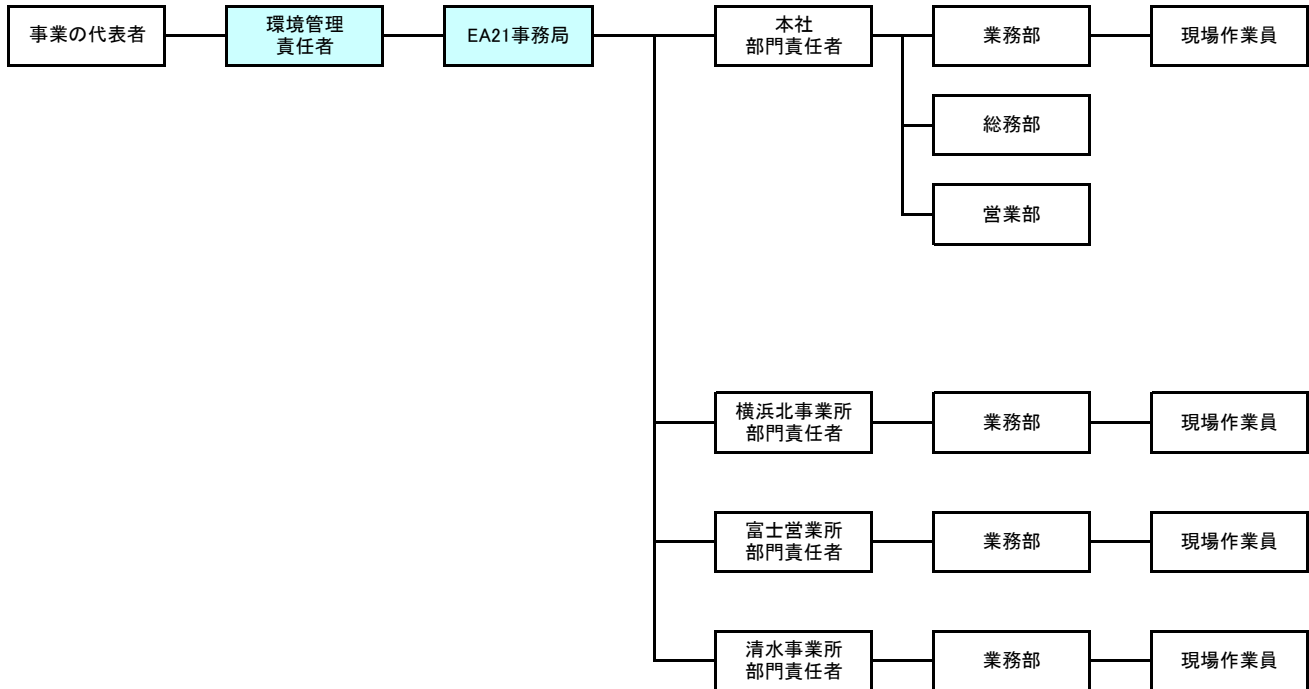
- ①全ての従業員が幸福な未来を実現するため、エコライフを実践します。
- ②市民や企業のエネルギー節約に協力し、率先して省エネ行動をします。
- ③持続可能な循環型社会構築のため、リサイクルを推進するとともに、環境経営の継続的改善を推進します。



## 【こづかグループ 環境経営方針】

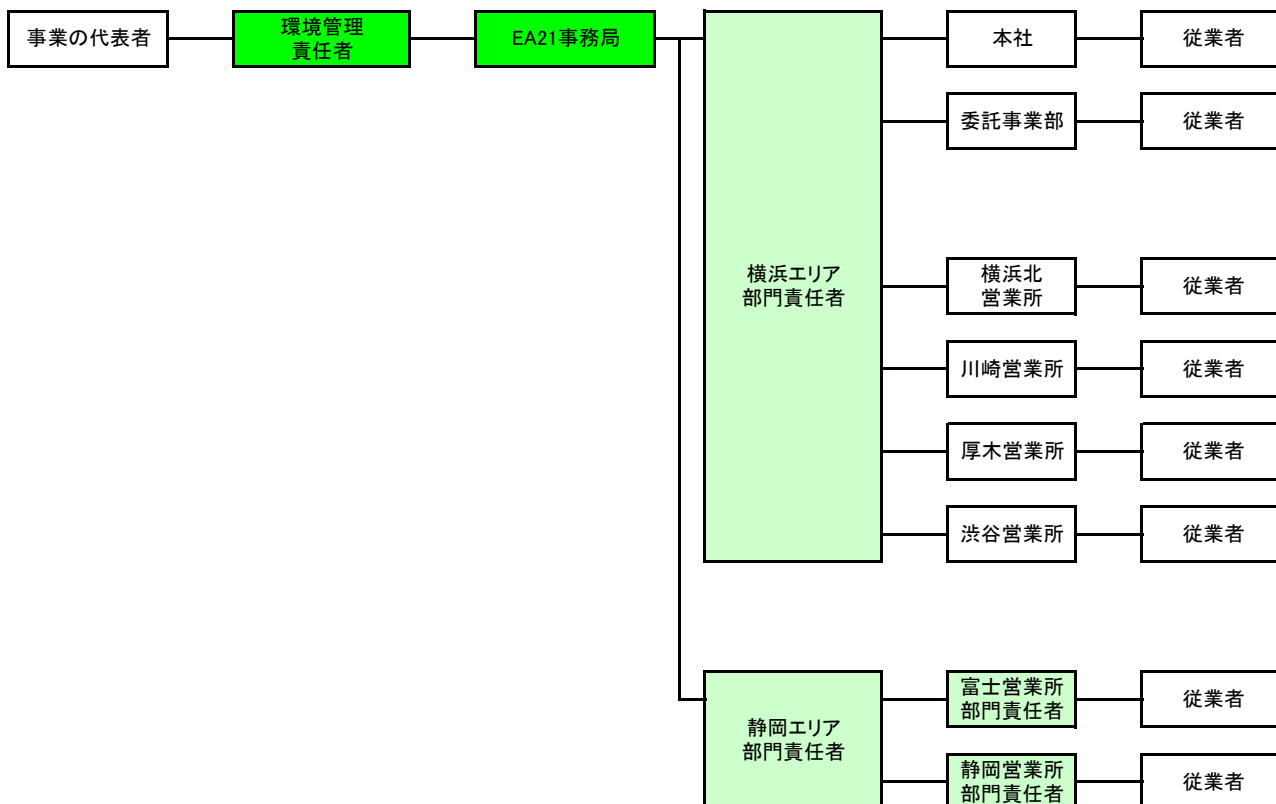
- 1、廃棄物再生利用の可能性を追求し、すべての従業員がその情報を共有するように努めます。
- 2、すべての事業所・営業所において、CO<sub>2</sub>削減、節水、省資源に努めます。
- 3、ペーパーレス化・雨水利用などで、環境への負荷低減を目指します。
- 4、廃棄物と再生資源の事業に関する法律を遵守します。
- 5、持続可能な循環型社会構築を目指して啓発と教育活動を行います。
- 6、本方針を公開し、朝礼、会議、ホームページで周知し、全従業員が、環境に配慮した行動をするよう努めます。

## 6-1. 環境組織図 こづか株式会社



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関する主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営の課題とチャンスの明確化</li> <li>■ 環境経営方針を承認する</li> <li>■ 環境管理責任者の任命</li> <li>■ 全体の取組状況の評価と見直し</li> <li>■ 資源の用意</li> </ul>
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任にかかわらず持つシステム実績を事業の代表者に報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム運用の維持管理</li> <li>■ マネージメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集</li> <li>■ 是正処置・予防処置の推進維持</li> </ul>
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口 内部監査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育・訓練計画の立案、実施</li> <li>■ 環境経営計画通りの運用の実施と確認</li> <li>■ 取扱数量の把握と半期ごとの集計 ※(出庫数量、代納含まず)</li> <li>■ 環境への負荷の自己チェック</li> <li>■ システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ</li> <li>■ 内部監査の実施</li> </ul>
部門責任者	部門システム運用責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境経営方針、環境経営目標、部門目標の周知(掲示)</li> </ul>
従業員	環境活動の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 部門責任者の指示等に従い環境活動を実施する</li> </ul>

## 6-2. 環境組織図 有限会社大興資源



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関する主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営の課題とチャンスの明確化</li> <li>■ 環境経営方針を承認する</li> <li>■ 環境管理責任者の任命</li> <li>■ 全体の取組状況の評価と見直し</li> <li>■ 資源の用意</li> </ul>
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任にかかわらず持つシステム実績を事業の代表者に報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム運用の維持管理</li> <li>■ マネージメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集</li> <li>■ 是正処置・予防処置の推進維持</li> </ul>
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口 内部監査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育・訓練計画の立案、実施</li> <li>■ 環境経営計画通りの運用の実施と確認</li> <li>■ 取扱数量の把握と半期ごとの集計 ※(ドライバー1人あたりの数量または燃料1Lあたりの走行)</li> <li>■ 環境への負荷の自己チェック</li> <li>■ システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ</li> <li>■ 内部監査の実施</li> </ul>
部門責任者	部門システム運用責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境経営方針、環境経営目標、部門目標の周知(掲示)</li> <li>■ 実施状況の確認と記録の収集</li> </ul>
従業員	環境活動の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 部門責任者の指示等に従い環境活動を実施する</li> </ul>

## 7-1. こづかグループ 環境経営目標

年度	2020年度実績 (基準年)		2021年度目標		2022年度目標		2023年度目標	
	こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源
環境経営目標								
取扱量の増加(t)	30,213	28,123	+1200	+1200	+2400	+2400	+3600	+3600
CO2排出量の削減	購入電力 (kWh/t)	13.1	-1%		-2%		-3%	
	CO2 (購入電力 (kg-CO2/t))	6.5	-1%		-2%		-3%	
	化石燃料 (L/t)		14.9	-1%		-2%		-3%
	CO2 (化石燃料 (kg-CO2/t))		38.3	-1%		-2%		-3%
水使用量の削減(m3/t)	0.102		-1%		-2%		-3%	
自社廃棄物の削減(t)		85.3		-1%		-2%		-3%
プラスチック再資源化の推進		推進内容検討		目標設定		推進活動開始		推進活動継続

1. CO2排出量（購入電力、化石燃料）、および水使用量は各事業体の取扱量原単位とする。廃棄物は絶対値とする。
2. 2020年度実績値を基準値とする。
3. 取扱量は2020年度実績に対し+1,200t/年、他は-1%/年を目標とするが、2021年度末に再度見直す。
4. 化学物質は使用していないので目標とはしない。
5. 自社廃棄物は事業系一般廃棄物を示す。
6. 購入電力のCO2排出係数：2019年度調整後排出係数（富士事業所のみ東京電力(株)：0.442、他は日本テクノ(株)：0.501)

## 7-2. こづかグループ 環境経営計画

### 2021年度(2021.10-2022.09) 環境経営計画

GR=グループ全体、KO=こづか株式会社、TA=有限会社大興資源

←実施予定期間

#### ● 取扱量の増加

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2021			2022											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
営業会議・ドライバー会議の実施(GR)	総務部	営業社員															
ブランド力強化(イベント等への参加)(GR)	総務部	総務部															
収集ルートの見直し(TA)	業務部	業務部															
セールスドライバーの育成(TA)	営業・業務部	業務部															
ドライバー一人当たりの重量目標の達成(TA)	総務部	総務部															

#### ● CO<sub>2</sub>(電力、化石燃料)の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2021			2022											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
◆ CO <sub>2</sub> (電気使用量、化石燃料)の削減																	
エコドライブ・車両管理(TA)	業務部	ドライバー・営業															
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業員															
作業効率化(GR)	業務部	全従業員															
スイッチ・エレベーターの適正管理(GR)	総務部	全従業員															

#### ● 水使用量の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2021			2022											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
◆ 水使用量の削減																	
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業員															
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員															

#### ● 自社廃棄物の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	2021			2022											
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業員															
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業員															
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業員															

## 8. 部門別環境経営目標

### ◆ こづか株式会社

- 本社
  - 横浜北事業所
  - 富士営業所
  - 清水事業所
- 部門は左記のとおりとし、  
月次内部監査 ALL「A」を目指す

監査項目を14から10に変更、数値も10点満点基準とし、数値を簡略化することで継続的な評価がフィードバックしやすくなった。

監査項目の見直しは1年に1度とする。

現場監査が正確に行なわれるよう専任担当者が抜き打ちで各事業所を監査する。

### こづかグループ内部監査年間評価結果/是正処置

作成 2022/10/10 藤澤

No.	期間	内容	指示	スコア			
	2021.10~2022.9			本社	横浜北	清水	富士
1	あいさつ	お客様、地域の方、社内間でのあいさつ	常時	B+	B+	B+	B+
2	プレス機メンテナンス	プレス機の清掃・整備など	毎日	B	B	B	B
3	台貫清掃	台貫の内部	1週間に一度	B	B+	B	B
4	場内外清掃	場内・工場周辺の清掃	常時	B	B+	B+	B
5	重機メンテナンス	重機の清掃・整備など	毎日	B	B	B+	B
6	消火器の点検	配置場所、消費期限	訓練実施時(半年に一度)	A	B	B+	B+
7	事故・物損		常時	B	B	B+	A
8	在庫の仕方	積み方、奥から高く、くずれないように積んでいるか	毎日	B+	B+	B	B+
9	エアコンの設定温度	設定温度は適切か(冬20°C・夏27°C)	毎日	A	B+	A	B+
10	環境方針(目標)は把握してるか	最新版を掲示	常時	A	B+	B+	B+

- 1.スコアは1年間の平均スコアとする
- 2.スコアがC以下の場合には是正処置を講ずる
- 3.スコアと点数の対応は以下の通り  
100点:A、90-99点:B+、70-89点:B、69点以下:C

### ◆ 有限会社 大興資源

- 横浜エリア 1人1日あたり3500kg
- 静岡エリア 1人1日あたり3000kg
- 委託部門 燃費の向上

## 9-1. 環境経営目標の実績 こづか株式会社

### 1. 取扱量の増加

◆ 取扱量（古紙、缶・ペット・ビン、古布の再資源化量）					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値 (+1,200t)	基準年度比	評価
取扱量	30,213t	29,060t	31,413t	△1,063t	×

以下の表の”◆”は、取扱量原単位を示します。

### 2. CO2排出量の削減

◆ 購入電力使用量（CO2排出係数は、富士事業所のみ東京電力(株):0.442、他は日本テック(株):0.501）					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
購入電力	13.1kWh/t	14.3kWh/t	13.0kWh/t	+9.1%	×

◆ CO2排出量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
購入電力起因 CO2排出量	6.5kg-CO2/t	7.1kg-CO2/t	6.4kg-CO2/t	+9.2%	△
こづか(株)の CO2総排出量	記録のみ	207t-CO2	-	-	-
グループ全体の CO2総排出量	記録のみ	1,375t-CO2	-	-	-

### 3. 水使用量の削減

◆ 水使用量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
水使用量	0.102m3/t	0.106m3/t	0.100m3/t	+3.9%	△

### 4. 自社廃棄物の削減

自社廃棄物排出量					
評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
自社廃棄物	85.3t	56.1t	84.4t	△34.2%	○

### 5. プラスチック再資源化の推進

2021年度目標	目標設定
実績	こづか株式会社では、プラ新法に伴い、プラスチックの再資源化販売に着手した。

参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2021年	2020年	2019年	2018年
取扱量	t	29,059	30,213	30,214	46,403
売上高	百万円	760	700	305	1,271
従業員	人	47	35	28	44
床面積	m <sup>2</sup>	6,288	6,288	6,288	12,491

## 9-2. 環境経営目標の実績 有限会社大興資源

### 1. 取扱量の増加

#### ◆ 取扱量(一般廃棄物・産業廃棄物・再生資源の収集運搬量)

評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値 (+1,200t)	基準年度比	評価
取扱量	28,123t	26,932t	29,323t	△1,191t	×

以下の表の"◆"は、取扱量原単位を示します。

### 2. CO2排出量の削減

#### ◆化石燃料使用量(ガソリン、軽油)

評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
化石燃料	14.9L/t	16.9L/t	12.7L/t	+13.4%	×

#### ◆CO2排出量

評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
化石燃料起因 CO2排出量	38.3kg-CO2/t	43.4kg-CO2/t	37.9kg-CO2/t	+13.3%	×
(有)大興資源 CO2排出量	記録のみ	1,168t-CO2	-	-	-

### 3. 自社廃棄物の削減

#### 自社廃棄物排出量

評価項目	評価基準数値 (2020年度)	2021年度実績値	2021年度目標値(-1%)	基準年度比	評価
自社廃棄物	85.3t	56.1t	84.4t	△34.2%	○

### 5. プラスチック再資源化の推進

2021年度目標	目標設定
実績	有限会社大興資源では、プラ新法に伴い、廃プラ回収と資源プラ回収を始めた。

#### 参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2021年	2020年	2019年	2018年
一般廃棄物・再生 資源収集運搬量	t	23,490	24,290	27,660	49,270
産廃収集運搬量	t	3,441	3,833	2,076	
産廃中間処分 処理量	t	24	0	238	3,504
売上高	百万円	969	968	1,077	1,200
従業員	人	145	140	135	167
床面積	m <sup>2</sup>	6,288	6,288	6,288	12,491



## 10. 環境経営計画・取組およびその評価

### ● 取扱量の増加

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
営業会議・ドライバー会議の実施(GR)	総務部	営業社員	営業会議の役員参加	○	継続
ブランド力強化(イベント等への参加)(GR)	総務部	総務部	地域のイベントに参加(都筑区民まつり)	○	
収集ルートの見直し(TA)	業務部	業務部	採算ルートの整理	○	
セールスドライバーの育成(TA)	営業・業務部	業務部	マニュアル化、ルール作り	○	
ドライバー一人当たりの重量目標の達成(TA)	総務部	総務部	回収量実績の確認	○	

### ● CO<sub>2</sub>(電力、化石燃料)の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
◆ CO <sub>2</sub> (電気使用量、化石燃料)の削減					
エコドライブ・車両管理(TA)	業務部	ドライバー・営業	ドライバーマニュアル、考課表による技能評価、社内講習会	○	継続
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業員	社内掲示、温度設定は冷房時27℃、暖房時20℃に設定	○	
作業効率化(GR)	業務部	全従業員	業務会議による配車見直し	○	
スイッチ・エレベータの適正管理(GR)	総務部	全従業員	スイッチの配置図作成、掲示、消灯点検	○	

### ● 水使用量の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
◆ 水使用量の削減					
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業員	環境への負荷の自己チェック毎月実施	○	継続
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員	トイレ洗浄水の雨水利用、洗車・清掃への利用の検討	○	

### ● 自社廃棄物の削減

環境経営計画および取組内容	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の計画
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業員	会議資料の両面印刷による紙使用量削減	○	継続
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業員	朝礼など呼びかけ・教育内容に盛り込む	○	
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業員	会議等での使用。資料削減	○	

## 11. 環境経営目標に対する取組の評価

### ◆2021年度評価

#### こづか株式会社

今年度は更に「SDGs」の取り組みが様々な業界で加速した1年でした。缶やペットボトルな軽量物の資源物は増加しましたが、紙などの重量物は昨年に引き続き減少の傾向で、全体の取扱量（重量）は昨年より4%程減少となりました。他の目標も取扱量を原単位としているため原単位実績値が増加し目標未達が多くなりました。

こづか株式会社を含めこづかグループではプラ新法施行に伴いプラスチックの再資源化事業に着手し、こづか株式会社では再生プラスチックの販売を始めました。

#### 有限会社大興資源

再資源化物・産業廃棄物回収業として、こづか株式会社と同様に環境経営目標である取扱量（重量）が減少しました。今後は、こづか株式会社同様、プラスチックの再資源化事業で取扱量の増加を見込んでいます。化石燃料使用量目標未達の原因は自動車の交換部品滞りによる燃費の悪化であり、今後はこのようなことも考慮に入れた自動車保守の年度計画を立てて行こうと考えます。

#### 総評

コロナショックにより落ちた経済が一転し30年ぶりの株高など経済に活気が溢れ始めた1年でした。また、22年4月にはプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行されることにより、業界大手各社だけでなく家庭でもプラスチックのリサイクルに関心が集まる年でもありました。こづか株式会社・大興資源ではプラ新法の施行に伴い発泡スチロールやPPバンドのプラスチック類のリサイクルをいち早く取り組み、今後も取扱量を増加予定です。

これまで取扱量目標（重量）は単位質量の重い古紙をベースに策定してきましたが、今後単位質量の軽いプラスチック類の取扱いが増加することを考慮して、2021年度実績を基準とした目標に変更しました。他の目標は当面、中期目標通りとしますが、取扱物品の変化に応じて、今後原単位の妥当性の検討も考えます（現状は取扱量（重量）原単位）。

#### こづかグループ 2022年度以降の中長期環境経営目標

年度	2020年度実績（基準年）		2022年度目標		2023年度目標	
	こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源	こづか(株)	(有)大興資源
環境経営目標						
取扱量の増加(t)	29,059	23,490	+100	+100	+200	+200
CO2排出量の削減	購入電力 (kWh/t)	13.1	-2%	-2%	-3%	-3%
	CO2 (購入電力 (kg-CO2/t))	6.5	-2%	-2%	-3%	-3%
	化石燃料 (L/t)		14.9	-2%	-2%	-3%
	CO2 (化石燃料 (kg-CO2/t))		38.3	-2%	-2%	-3%
水使用量の削減(m3/t)	0.102		-2%	-2%	-3%	-3%
自社廃棄物の削減(t)	85.3		-2%	-2%	-3%	-3%
プラスチック再資源化の推進	2021年度に目標を設定		事業化準備		事業開始	

- CO2排出量（購入電力、化石燃料）、および水使用量は各事業体の取扱量原単位とする。廃棄物は絶対値とする。
- 2020年度実績値を基準値とする。
- 取扱量目標は2021年度実績に対し+100t/年とし、他の目標は2021年度中期目標通りとするが、2021年度末に再度見直す。
- 化学物質は使用していないので目標とはしない。
- 自社廃棄物は事業系一般廃棄物を示す。
- 購入電力のCO2排出係数：2019年度調整後排出係数（富士事業所のみ東京電力(株)：0.442、他は日本テクノ(株)：0.501)

## 12-1. 教育・訓練の計画・実施 こづか株式会社

### 1.教育内容

各部門では毎朝の朝礼を実施、K.Y.T(危険予知トレーニング)を実施。

古紙梱包ペーラーなど10年以上使用している機械の老朽化による故障火災を防ぐため、各事業所の所長が機械のチェックをし、作業員に講習・報告会を毎月実施。

火災や地震などの災害時、工場内で人が通る動線を確保するため、荷物に合わせたラインを引き、置き場の整理を実施。毎年3月・9月には部門別に消防訓練を行い、実際の火災を想定して緊急事態対応規定の実用性を確認する。

毎月の定例会議では、環境管理責任者より、エコアクション21の活動内容について、環境目標の確認、必要な活動計画などを教育している。

### 2.教育・訓練計画

内容	対象	2021			2022									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア 現場作業員													
機械に関する教育	横浜エリア・ 静岡エリア													
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア													

### 3. 緊急事態への対応

半期に1度工場における防災訓練やリスクアセスメントを実施。

毎月の現場会議において、環境負荷低減や省資源などの教育活動を議題に取り入れ、作業員の意識を高めた。

#### (1) リスクアセスメントの内容

- ・紐取り作業の安全研修
- ・コンベア使用時の安全確認
- ・老朽化した機械の安全確認、  
管理等の徹底



#### (2) 消火器の点検

- ・年に2回、消火器・消火栓の場所の認識テスト結果（3月・9月に実施）  
消火器：80%、消火栓：85%

#### (3)その他

- ・非常灯をLEDに変更完了
- ・防災訓練はこづかグループとして(有)大興資源と共同で実施。

## 12-2. 教育・訓練の計画・実施 有限会社大興資源

### 1.教育内容

- ・年一度、全従業員を対象とし環境に関する教育を行い、教育受講アンケートを回収し次回の教育内容への参考とする。  
今回のアンケート内容は以下の通り
  - \* 現在問題になっている新型コロナウイルス感染流行について
  - \* 持続可能な社会作りのためにできること
  - \* こづかグループの環境理念
- ・随時、ドライバーを対象として交通安全講習会を実施する
- ・社内全体の防災意識を高めるためにも、人命を守り、年1回訓練を行う

### 2.教育・訓練計画

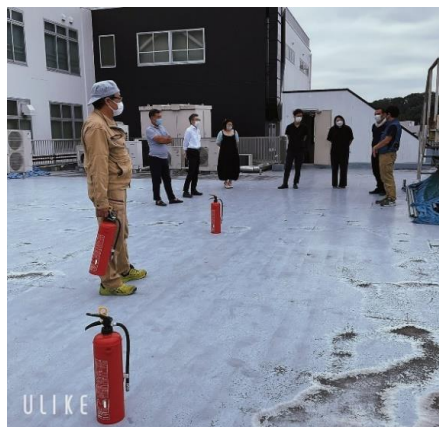
内容	対象	2021			2022									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
環境に関する教育	横浜エリア・静岡エリア													
緊急事態への対応訓練	横浜エリア・静岡エリア													

### 3. 緊急事態への対応

#### (1) 防災訓練

今期はこづかグループとして「日南防災」の指導の下、実際に消火器を使用しての消火訓練を行った。

- ・各避難経路の確認と消火栓の設置場所の確認
- ・社内緊急時一時避難場所の確認→  
全従業員で事業所、営業所内を確認してまわった。
- ・事務所棟側の屋上にて実際の火災を想定し消火器訓練の実施→  
消火器の使用法と声掛けの必要性を再確認した。



#### <反省>

- ・防災面において、昨年の訓練のおかげで消火器の使い方は良かったが、掛け声などが出来ていなかった。
- 防災への意識づけに必要な掛け声を従業員一同が出来るように次回は訓練いたします。

#### (2) 安全運転講習会

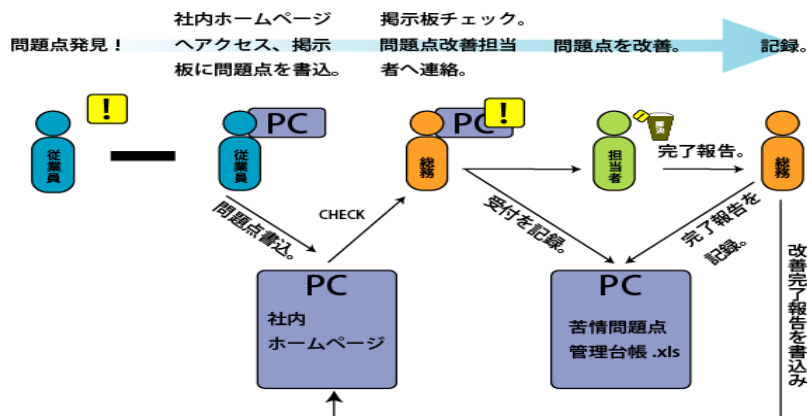
- ・講義形式で危険予知について学んだ。
- ・危険要因の予測と回避
- ・バック中に起きる事故が増えているため、後方確認のための必要動作。
- ・注意しなければならないポイントについて実際に起こり得る状況に照らし合わせながら学んだ。
- ・改めて一人ひとりが自覚をもって基本に忠実に行動することの必要性を再認識した。

## 13. 環境コミュニケーション

### 1. 内部コミュニケーションの手段

- ① 社内ホームページの開設・活用
- ② 朝礼の実施

#### 社内ホームページ活用イメージ



### 2. 外部コミュニケーションの手段

#### ・ 都筑祭り

本年度は、新型コロナウイルス流行から約3年ぶりの開催となりました。各ブースでは感染予防を行い、規模縮小しての開催でしたが、大いに盛り上がり見せていました。



#### 効果

横浜市最大の都筑祭りに企業として参加をして、こづかグループの宣伝とともに、地域の方々にプラ新法の啓蒙を行いました。今後、こづか株式会社・大興資源とともにプラスチックの再資源化事業を盛り立てる布石になりました。

## 14-1. 環境関連法規のとりまとめと遵守評価

法規等の最新版確認日:2022年9月1日

法規等の名称	規制概要	該当する条項等	規制詳細	規制の適用	適用事業者		遵守評価	
					こづか(株)	(有)大興資源	2022年3月	2022年9月
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理	第7条 第14条 第15条 第12条	排出事業者責任 契約書の締結 マニフェストの発行 施設の管理	廃棄物排出時 業務受注時 収集運搬時 中間処分場運営		○	○	○
各事業所所在地の廃棄物に関わる条例 一廃:横浜市、静岡市、富士市 産廃:神奈川県、静岡県	廃棄物処理		排出事業者責任 適正な処理	廃棄物排出時		○	○	○
許可取得の各行政条例 一廃:東京の一部、横浜市、川崎市、厚木市 産廃:東京都、神奈川県、静岡県、埼玉県、山梨県、千葉県、茨城県、群馬県、栃木県	各焼却施設への搬入 廃棄物の引き取り		不適合物の搬入 不適合物の収集	焼却施設搬入時 廃棄物の収集時		○	○	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	処理業者による不適正な処理の防止		産業廃棄物の処理状況の報告等	中間処理		○	○	○
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減			事業全般	○	○	○	○
横浜市生活環境の保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減			事業全般	○	○	○	○
PCリサイクル法、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法	特定家庭用機器、小型家電、PCのリサイクル		適正なりサイクル	業務受注時 廃棄時	○	○	○	○
道路交通法	道路の危険防止 交通の安全		道路の交通方法 運転免許 運転者の義務	道路通行時		○	○	○
自動車NOx・PM法	ディーゼル自動車への規制	第4条 第12条 第17条	基準値の遵守	車両購入時 車検時		○	○	○
貨物自動車運送事業法	輸送の安全確保 事業の健全な発達			廃棄物収集運搬		○	○	○
消防法	指定可燃物の保管	条例別表7	ぼろ、紙くずの保管量	商品の保管時	○		○	○
フロン排出抑制法	業務用機器の冷媒適正管理(使用時漏洩の削減)	第16条	簡易点検、定期点検、充填時の漏えい量報告、適正廃棄報告	事業所のエアコン	○		○	○
浄化槽法	清掃・保守点検 水質検査 定期検査	第5条 第8～10条 第11条	定期点検、清掃、法定検査	富士営業所 WC	○		○	○

## 14-2. 環境関連法規遵守と訴訟・苦情等有無の来歴

起こりえる違反事項	訴訟・違反の有無					
	2020年3月	2020年9月	2021年3月	2021年9月	2022年3月	2022年9月
○環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反の有無	無	無	無	無	無	無
○関係機関からの指摘	無	無	無	無	無	無
○訴訟の有無	無	無	無	無	無	無

環境に関する外部からの苦情など	苦情の有無					
	2020年3月	2020年9月	2021年3月	2021年9月	2022年3月	2022年9月
○環境に関する外部からの苦情	無	無	無	無	無	無

## 15-1. 代表者による全体の評価と見直し こづか株式会社

見直し実施日	2022年12月20日	見直し者	代表取締役	小塚 敏文
収集した資料	① 2020年度環境経営レポート（案）			
評価内容	① 環境経営目標	④ エコアクションの審査結果		
	② 取り巻く環境の変化	⑤ 前回の指示事項の対応状況		
	③ 環境経営計画・取り組み			
総評	<p>今期は、古紙相場も順調に伸びたのとプラ新法、SDGsなど国の対策により再生ペットボトル相場が約5倍ほど価格になりました。</p> <p>弊社でも、再資源化という国が取り組む事業に興味を示し、今後の大きな事業として展開していくことを検討していくうえで、自社で可能な再資源化を検討してきました。主に古紙梱包材などから出る再生可能なプラスチックや大興資源が中間処理する産業廃棄物の中で再資源化が可能な再生プラスチックの販売に取り組みを始めました。</p> <p>上記の取り組みは、今後の国を取り巻く環境ビジネスにおいて大きな意味を持ち弊社の事業としても大きな意味を持ち合わせていると考えています。</p>			
変更の必要性の判断	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要	
	環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 不必要	
	実施体制、その他	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要	
環境管理責任者への指示事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■重機の省電力化の検討</li> <li>■周辺の環境活動への参加</li> <li>■環境経営目標の変更</li> </ul>				



## 15-2. 代表者による全体の評価と見直し 有限会社大興資源

見直し実施日	2022年12月20日	見直し者	代表取締役 猪又富美男
収集した資料	① 2020年度環境経営レポート（案）		
評価内容	① 環境経営目標 ② 取り巻く環境の変化 ③ 環境経営計画・取り組み	④ エコアクションの審査結果 ⑤ 前回の指示事項の対応状況	
総評	<p>本年度は、円安相場からロシア・ウクライナの戦争などで燃料の高騰や輸入物流が止まり新車などの納期が大幅に遅れるなど環境面からも経営面からも大きな損害となりました。</p> <p>エコアクション21に携わる弊社としても、CO2削減を業務の念頭において経営をしても、交換しなければならない車の部品が無く未修理のまま走る回収車輛などが、燃費が悪くなる一方で化石燃料を過分に使用することになりました。修理や新車の納期が出来ないことが大きな要因であるため、今後は、このような想定を入れたうえで、年度計画を立てて行こうと考えています。</p>		
変更の必要性の判断	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要
	環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input type="checkbox"/> 不必要
	実施体制、その他	<input type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 不必要
<p>環境管理責任者への指示事項</p> <p>■生産性向上と環境負荷の低減の具体例</p> <p>■市況に合わせた新たな目標の見直し</p>			